

公共劇場舞台技術者連絡会 令和2年度総会報告

公共劇場舞台技術者連絡会（公技連）は舞台技術部門職員を有する全国の公立文化施設の劇場及びホールまたは施設を運営する法人で構成され、公立の劇場やホールの劇場技術者が連携し、各劇場間の諸問題の調査研究や情報交換・研修を通して、公演製作作業の安全基準及び運用管理基準の策定と普及を行い公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目的とする組織である。

令和2年度公共劇場舞台技術者連絡会総会においては、新型コロナウイルスの集団感染を防止するため、公共劇場舞台技術者連絡会事務局より配布された「令和2年度総会資料」に沿って、書面での議決となった。

結果は下記の通り、全ての議案について24館の賛成をもって可決された。

【第1号議案】令和元年度事業報告および決算報告について可決された。

【第2号議案】代表委員確認および高崎芸術劇場新規入会について事務局より各館の代表委員の変更確認を行ってリストにまとめた。新規入会の希望(高崎芸術劇場)の入会が可決された。

【第3号議案】役員改選について下記の事務局案の通り可決された。

会 長	KAAT 神奈川芸術劇場	堀内 真人
副会長	兵庫県立芸術文化センター 新国立劇場	関谷 潔司 櫻井 拓朗
監 事	世田谷パブリックシアター	熊谷 明人
事務局	びわ湖ホール 水戸芸術館 愛知県芸術劇場	押谷 征仁（事務局長） 山本 基之（会計担当） 畔上 康治（HP 担当）

【第4号議案】講師等謝礼金基準について可決された。

【第5号議案】令和2年度事業計画および予算案について可決された。

【その他の報告】

[1]各館の近況が文書によって報告された。

[2]新型コロナウイルスの影響および対策の情報交換を目的として、
「今公共劇場が考えるべきこと、おこなうべきこと」をテーマにオンラインで
公技連特別連絡会が5月12日に開催された。

